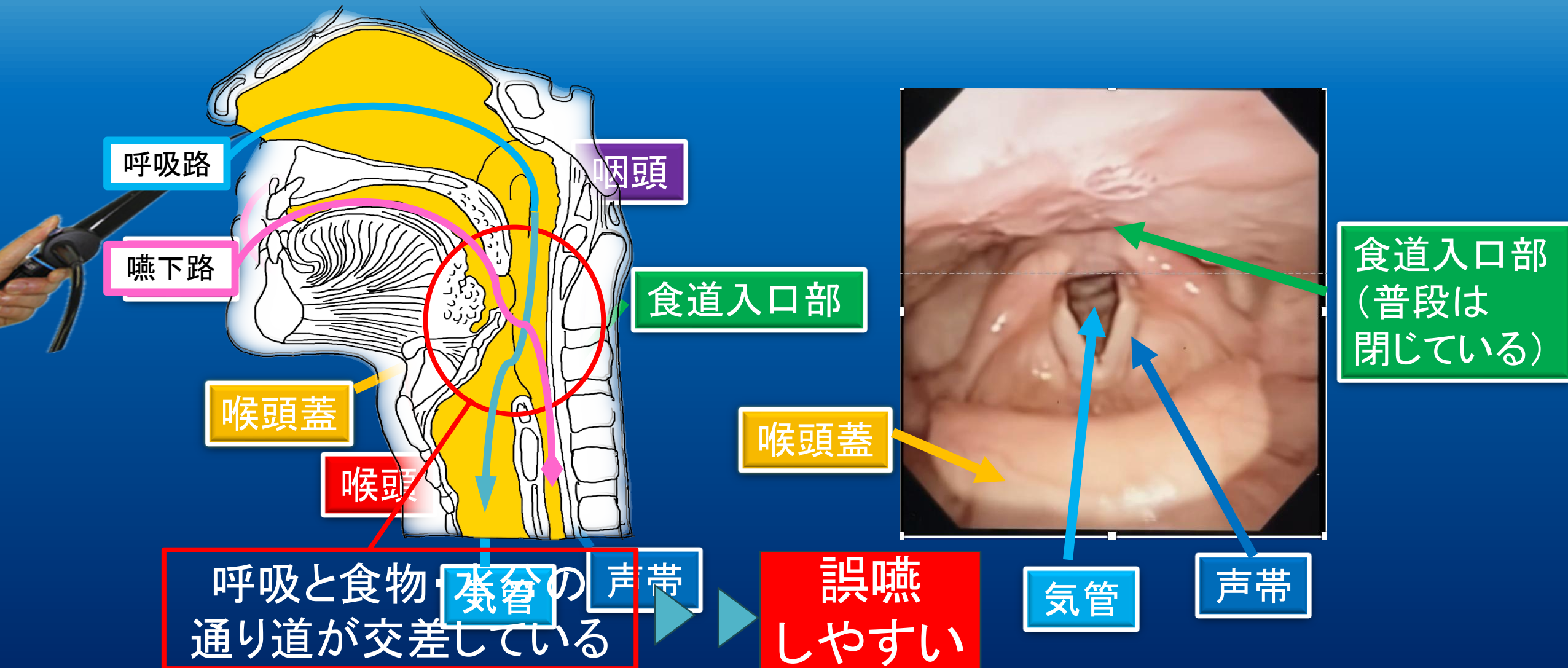


摂食嚥下機能の メカニズムと基礎知識

公益財団法人豊郷病院 歯科口腔外科
藤居 孝文

咽頭部の解剖(主な構造)



「摂食嚥下機能」とは？

「摂食」＝食べる過程のすべて

捕食

+

咀嚼

+

嚥下

2つの系統的モデル

摂食障害は
拒食症などの
精神疾患のこと

5期モデル

歯と口腔

Logemann 1983

咽頭・食道・胃

プロセスモデル

Palmer 1992

5期モデル(命令嚥下)

先行期



準備期



口腔期



咽頭期



食道期

食物の認識
食べ方の判断

咀嚼による
食塊形成

舌による咽頭
への送り込み

咽頭から食道
への送り込み

食道から胃へ
の送り込み



随意的

不随意的

先行期

準備期

口腔期

咽頭期

食道期

食物の認識
食べ方の判断

咀嚼による
食塊形成

舌による咽頭
への送り込み

咽頭から食道
への送り込み

食道から胃へ
の送り込み

随意的

不随意的

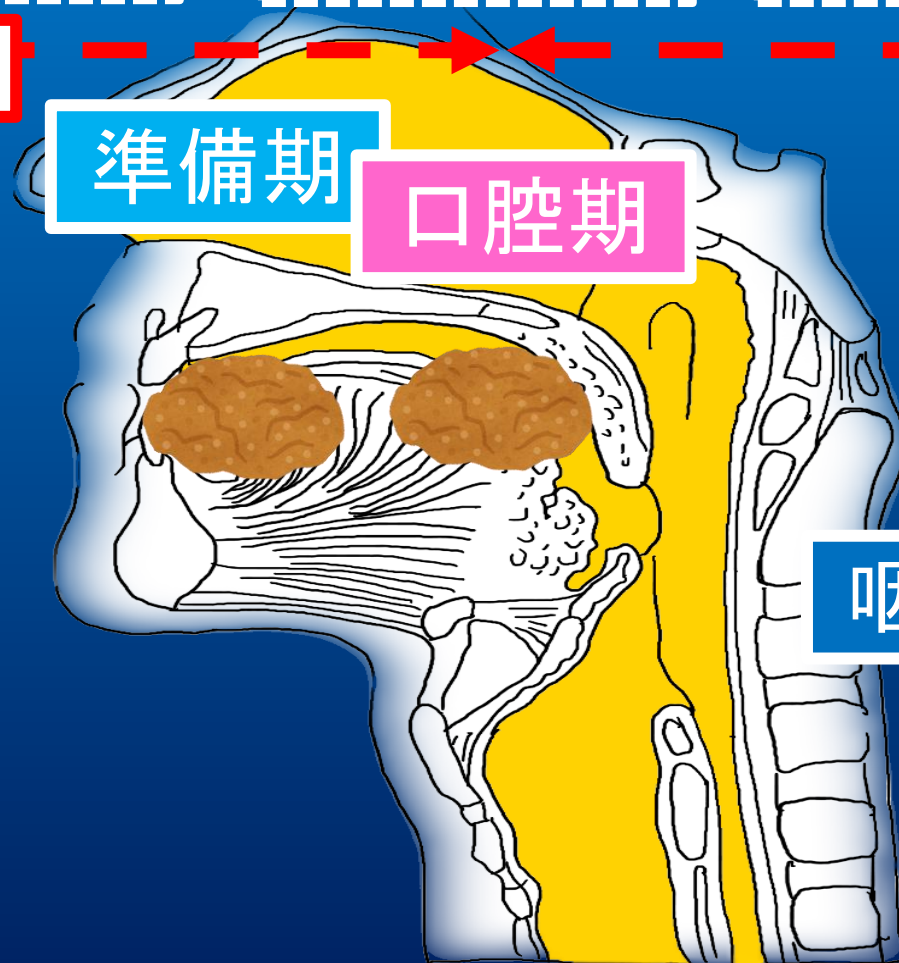
先行期

準備期

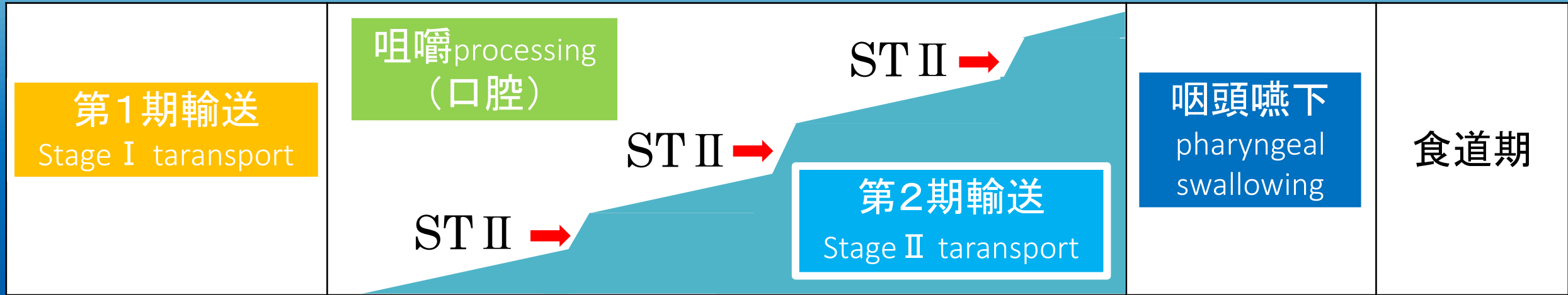
口腔期

咽頭期

食道期



プロセスモデル(咀嚼嚥下)

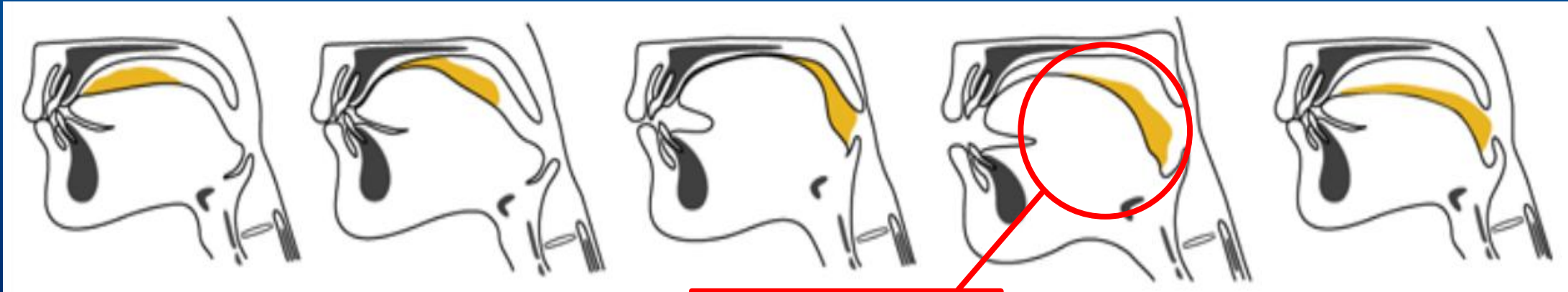


捕食後に、食物を臼歯部まで運ぶ

食物を咀嚼し唾液と混和

咀嚼した食物を順次咽頭へ送る

咽頭に蓄積した食塊と咀嚼された食塊と一緒に嚥下される



咽頭での食塊の蓄積

摂食嚥下障害の原因

- 加齢に伴って生じる機能低下によるもの（廃用）

- 疾患や病変が原因となって生じるもの

機能的要因：脳血管疾患や神経変性疾患に関連して
口腔から食道までの運動や感覚が障害される

器質的要因：先天欠損や炎症・腫瘍に関連して咀嚼や嚥下
に関わる構造が障害される

心理的要因：認知機能低下に関連して食行動に関わる
心理面が障害される

摂食嚥下障害を疑う主な症状

- ◆食事時間・食べ方の変化
- ◆食事内容や好みの変化
- ◆むせる、咳が出る
- ◆声の変化
- ◆痰の量の増加
- ◆食欲の低下
- ◆やせ・体重の減少



むせ

≠

誤嚥

誤嚥

≠

誤嚥性肺炎

誤嚥

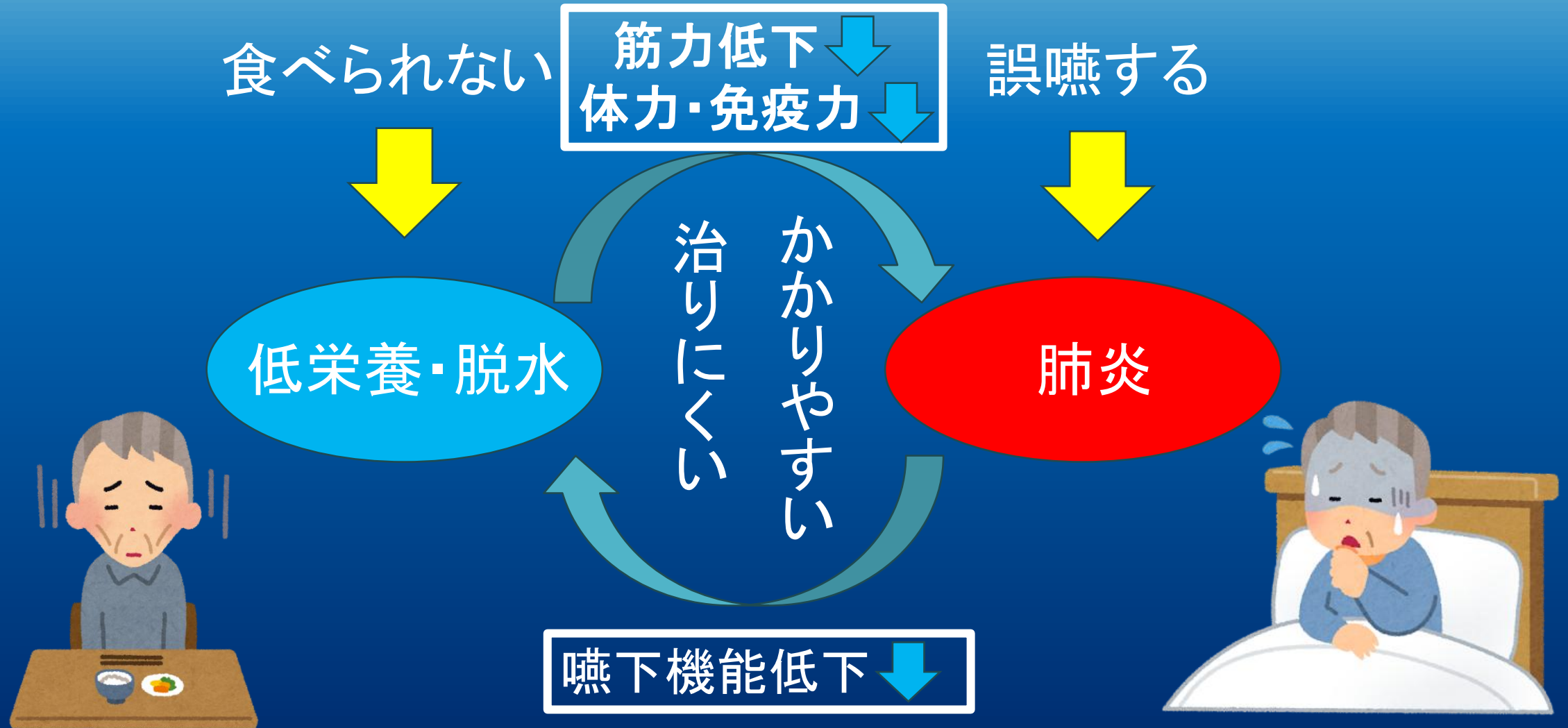
食塊や分泌物・胃内容物が声門を越えて
下気道に入った状態

誤嚥の量↑ 喀出力↓ 体力・免疫力↓



誤嚥性肺炎

摂食嚥下障害の悪循環



人間の「食べる」には **特性** と **限界** がある

現状と理由について説明

向上



維持



看取り



患者や家族に理解し、納得してもらう！

Technical Skill

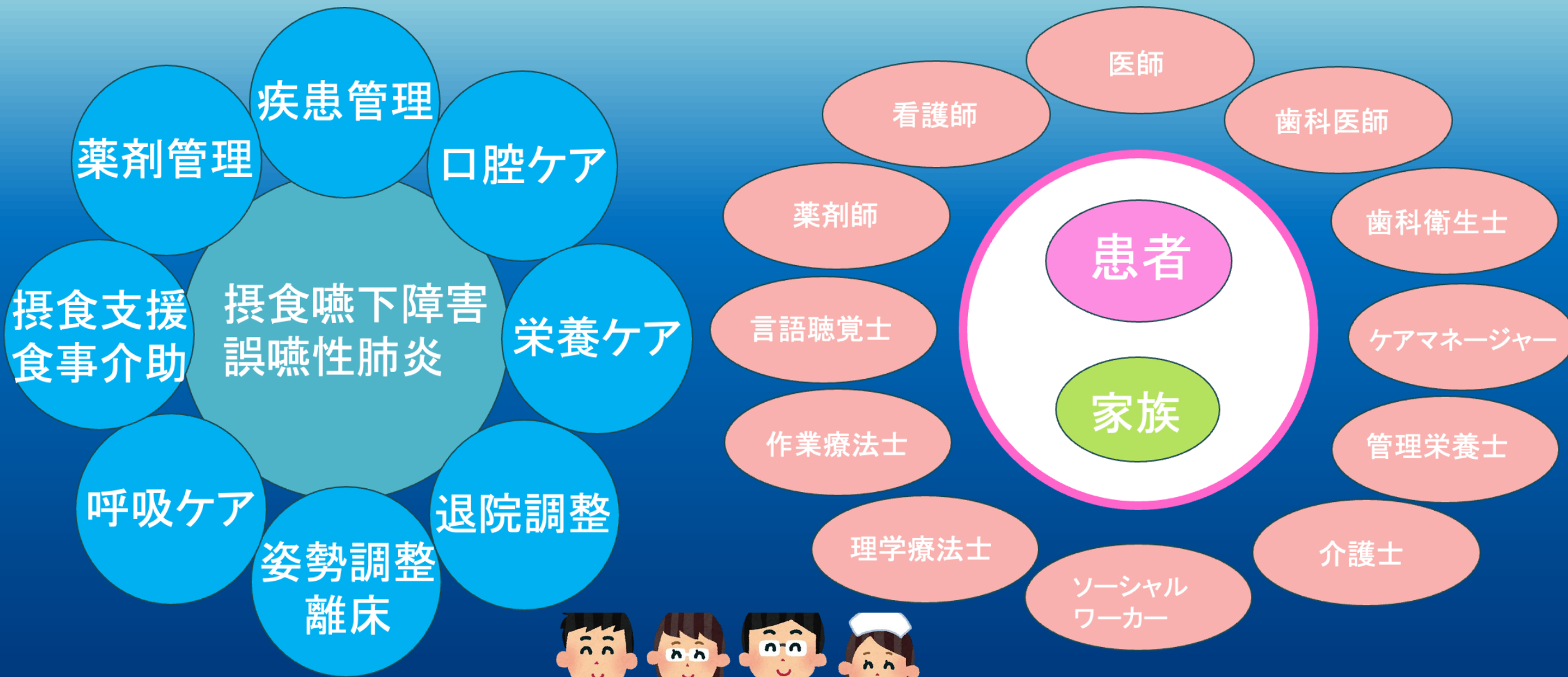


スクリーニングテスト・頸部聴診・VE・VFなど

Non-Technical Skill



食事観察・気付き・コミュニケーションなど



ご清聴ありがとうございました

